

田園の夢

帯広美術館名品選 バルビゾン派の世界



2023(令和5)年

7月1日(土)～9月3日(日)

北海道立帯広美術館は、全国有数の農業、酪農地帯である北海道の十勝地方に立地し、近代フランス、バルビゾン派の作品を中心に優れたコレクションを所蔵しています。

バルビゾンはパリ郊外に広がるフォンテーヌブローの森に接する村です。19世紀中頃、豊かな自然環境に囲まれた田園風景が画家たちの関心をひきました。田園とそこに生きる人々の姿を描いた彼らは、後にバルビゾン派と呼ばれます。屋外で眼前の光景や人々の姿と向き合うことで生まれた作品の数々は、印象派の先駆けともなりました。本展ではバルビゾン派の名品を紹介するとともに、同時代のフランス美術を代表する画家、クールベの作品もご紹介します。

主催 北海道立釧路美術館、北海道新聞釧路支社

後援 釧路市、釧路市教育委員会、NHK釧路放送局、FMくしろ

協力 北海道立帯広美術館

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩・キャンバス
2	レオン・リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩・キャンバス
3	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼い	1872	油彩・キャンバス
4	ジュール・デュプレ	ペリー地方の農家	1830年代	油彩・キャンバス
5	アルフレッド・ド・クニフ	春の水辺、ケンペン	1875年頃	油彩・キャンバス
6	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩・キャンバス
7	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩・キャンバス
8	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩・キャンバス
9	アレクサンドル・ドゥフォー	森の中での休息	1871	油彩・キャンバス
10	ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング・紙
11	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	1855年頃	エッチング・紙
12	ジャン＝バティスト＝カミュー・コロー	植林された平野	1866	エッチング・紙
13	シャルル＝フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877	エッチング・紙
14	シャルル＝フランソワ・ドービニー	ヒマラヤ杉	1842	エッチング・紙

※すべての作品は北海道立帯広美術館所蔵 No.2 は帯広市寄託

※寸法は 縦×横